

好評につき無料
& 期間限定公開

共同企画

公開期間

2024年12月20日
～2025年8月31日



教育サミット特集

10月12日、13日に実施したTokyo Education Show
「教育サミット」の様子をI Dig Eduでアーカイブ配信
します。この機会にぜひご視聴ください。

視聴はこちら



初回のみID登録が必要です。

STEAM×探究×グローバル

教育サミット

～探究学習のこれから～



鹿野 利春

京都精華大学メディア表現学部教授
(一社) デジタル人材共創連盟
代表理事



登本 洋子

東京学芸大学大学院
教育学研究科 教育実践創成講座
准教授



森本 真由

カシオ計算機株式会社
EdTech事業部 EdTech開発部
アプリ事業戦略室



杉浦 太一

株式会社Inspire High
代表取締役



教育現場をいかにサポートしていくか
Tokyo Education Show

「探究学習」は実践を深めていくと「デジタル」を活用した情報収集・分析が専門的になることから、独自の観点の発見に行き着くことが多く、「STEAM」とは切っても切り離せなくなる事例が多くあります。また国内のみの活動に留まらず日本と諸外国との比較や連携など「グローバル」とも切り離せないものになっていきます。

本動画では、国内外で進む探究学習の先端事例を通じて、未来の教育を切り開く新たな可能性を探るヒントが満載です！

未来の学校の多様な教員集団

教育サミット



長谷川 勇紀

一般財団法人地域・教育魅力化
プラットフォーム
ディレクター



松田 恵示

神戸親和大学学長
立教大学特任教授
東京学芸大学理事



中原 健聡

認定特定非営利活動法人
Teach For Japan代表理事



大藪 聡史

polyfit株式会社
代表取締役CEO



教育現場をいかにサポートしていくか
Tokyo Education Show

未来の学校では、どのように多様な専門性を有する教員集団の形成がなされ、児童・生徒の学びのあり方にどのような影響を与えているのでしょうか。「令和の日本型学校教育」を支える教員集団は、多様な専門性を備えた形へと進化しています。

本動画では、教員免許の枠を超えた人材育成や、地域との新しい連携モデルを紹介しています。多様な教員集団が子どもたちの学びに与える影響を議論していますので、ぜひご覧ください。

部活動の地域移行

教育サミット

～実際に部活動を地域で運営している町の話～



松下 信武

アイデンティティ・
パートナーズ株式会社
わたし・みらい・創造センター
(企業教育総合研究所)
上席研究員/コーチ



金子 嘉宏

東京学芸大学
教育インキュベーション
センター長 教授



井内 聖

北海道安平町教育委員会
教育長



森元 俊太郎

東京フットボールクラブ
株式会社(FC東京)



教育現場をいかにサポートしていくか
Tokyo Education Show

未来の学校ではどのように部活動が行われ、児童・生徒・保護者・地域住民らのくらしはどうなっていくのでしょうか？

部活動の地域移行は今後、人口の多い「都市型」・人口の少ない「地方型」のように自治体の人口規模によって異なる対応が進むと考えられています。本動画では、先進的な自治体の事例を取り上げ、これからの部活動の地域移行化の在り方を探り、子どもたちや地域社会に与える影響を考察しています。

デジタル時代の学びとその支援

教育サミット



後藤 匠

株式会社Libry
代表取締役CEO



小森 智子

株式会社 内田洋行
ICTリサーチ&
デベロップメントディビジョン
ICT基盤システム開発部 次長



堀田 龍也

東京学芸大学
教職大学院教授・
学長特別補佐



上嶋 宏

カシオ計算機株式会社
EdTech事業部
EdTech開発部
部長



葉一

教育YouTuber
「とある男が授業をしてみた」



教育現場をいかにサポートしていくか
Tokyo Education Show

今後、デジタルを前提とした教材活用や校務支援も当たり前のものになっていきます。そこで、本動画では「デジタル時代の学びとその支援」というテーマで、デジタル時代の子どもの学びに焦点を当てながら、それを促進する教員の在り方で議論しています。

デジタル教科書による個別最適な学びの支援、デジタル学習ツールを活用した探究・協働学習の実現、ICT環境整備とデータ利活用を推進している事例を通じて、教育現場における新たな学びの形を考えるヒントが盛りだくさんです。

お問合わせ

東京学芸大学 先端教育推進課

✉ info.idigedu@u-gakugei.ac.jp



東京学芸大学 I Dig Edu

最新情報はこちらから





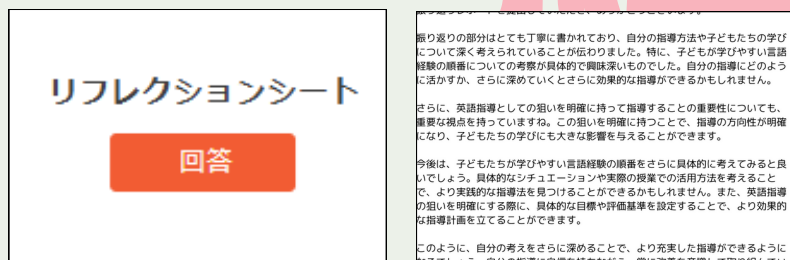
教育者の主体的な
学びのための
プラットフォーム

I Dig Eduは、東京学芸大学が企画運営する、
教育者が主体的に学べるコンテンツを提供する
プラットフォームです。

動画を見た後は…

①リフレクションをしてみよう！

受講後に簡単なリフレクションシートを書くと、AIからコメントが返ってきます。リフレクションを行うと、学びのポートフォリオに履歴と学びのポイントが蓄積されます。



②他の講座も受けてみよう！

東京学芸大学はもちろん、社会人研修の企業等の外部機関からも提供する先導的で多様な講座ラインアップ。eラーニング・オンライン研修・対面研修等、受講形態もさまざまです。



③学びのポイントがたまったらバッジを獲得しよう！

講座をいくつか受けてポイントがたまると、東京学芸大学が提供する国際標準のデジタル認証であるオープンバッジの獲得が可能になります。オープンバッジはSNS等でシェアしたり、メールの署名に添付するなどして他者にアピールできます。

ポートフォリオ		学習の進捗状況			
区分	認定名	講座・能力	ポイント	累計ポイント	ランク
共通	カテゴリーA 教育者・教育支援者の基礎	A-1 教育現場を支える学習の専門性	2	6	ブロンズまであと9点
		A-2 学習に際する基礎的な知識	0		
		A-3 子どもが学校で学ぶ現代の課題	4		
		A-4 教育支援活動の手法	0		
カテゴリーB 【学校教育】 学校運営	【学校教育】 学校運営	B-1 教育現場・学校運営	3	7	ブロンズまであと8点
		B-2 学習支援・指導体制	0		
		B-3 教育データとICTの活用	2		
		B-4 人材育成への取組	0		
カテゴリーC 【学校教育】 学習指導	【学校教育】 学習指導	C-1 学習指導・指導体制	5	11	ブロンズまであと4点
		C-2 学習指導・指導体制	3		
		C-3 学習指導・指導体制	2		
		C-4 指導方法の活用	0		
カテゴリーD 【学校教育】 生涯学習	【学校教育】 生涯学習	D-1 カリキュラムデザイン	1	1	ブロンズまであと4点
		D-2 生涯学習の推進	0		
		D-3 生涯学習の推進	0		
		D-4 生涯学習の推進	0		



オープンバッジの活用イメージ

この間、I Dig Eduでデータ駆動型評価に関する講座を受けたから、「教育データとICTの活用」のステータスが15点になった。バッジの申請をしよう！

Aさん

この間、A社のデータサイエンスの講座を受けたから、データサイエンスのバッジももらえたな。

今度、校長先生との打ち合わせで、自分のバッジを見せよう！

Aさんのウォレット

- I Dig Edu - カテゴリーB 【学校教育】 学校運営 ブロンズ
- A社認定 「データサイエンス入門」
- B出版（教科書会社）認定 「デジタル教科書マスター1級」

I Dig Eduで獲得したオープンバッジ以外の学びのオープンバッジも所有できる。
(I Dig Eduで獲得するバッジは本人のバッジの一部という考え方)

もっとI Dig Eduを使いこなすには…

I Dig Eduトップページ

I Dig Edu公式X

I Dig Eduとは・受講の流れ・活用例

→テーマ別講座一覧で新たな講座を発見

→最新情報はこちら

→どこよりも詳しいI Dig Eduの解説